



## あぶくま地域の拠点都市を目指して

小野町議会議員 大和田 昭

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には輝かしい希望に満ちた初春をお健やかに  
かにお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、農業の面においては一時期の  
天候不順により水稲の生育が心配されましたが、総じて  
平年並みに推移し、また、インゲン、トマトは病気等で収  
量が若干落ち込みましたが、ちぢみほうれん草をはじめ  
としたミネラル栽培の生産拡大及び畜産市場の価格が  
安定されていることは喜ばしいことと思っております。

一方、商工業におきましては、大都市の一部において  
景気の回復が見られましたが、地方においては、まだ実  
感に至るものではなく、依然、厳しい状況下にあった年  
でありました。

昨年の国内外の社会情勢は、混乱する中東アジア情勢  
の中、原油価格の引き上げによる石油製品の高騰、北朝  
鮮の核施設の閉鎖、国内に目を向けますと、全国に被害  
をもたらした台風及び地震など予測を超える自然災害  
が発生し、多くの方々被災されました。被災者の方々  
の一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

一方、このように厳しい情勢の中、わが町におきまし  
ては、こまちダムの竣工式、こまち浄水場竣工式、更には  
磐越道郡山・いわき間の八割が四車線として供用される  
など、当町発展の鍵となる重要な施策は順調に推移をい  
たしております。また、厳しい経済情勢の中にあつて、誘  
致企業が個々の企業努力により、生産体制の拡充に取り

組まれておりますことは、雇用面も含め地域経済の活性  
化を一層助長するものであり、都市機能の条件整備と地  
域経済の再構築は、確実に進展をいたしております。

ご承知のとおり、自治体を取り巻く環境は、厳しい地  
方財政が引き続いていることから、財政改革を一段と進  
めて行かなければならず、自己決定と自己責任の行政  
運営が一層求められております。

国と地方の枠組みが変わりつつある中、当地域におい  
て重要な役割を担うわが町が未来に向けて着実に歩ん  
でいくためには、時代の変革の波を的確に捉え、行政と  
町民の皆様方がそれぞれの役割を果たし、協働で自立し  
たまちづくりを進めていくことが一層求められて参り  
ます。

議会といたしましても、時代の変革にあつた議会運営  
に努め、町民の皆様のご意見を町政に反映し、当町の有  
する貴重な資源及び今日まで整備されて参りました社  
会資本を最大限に活かした、自然と共生しながら町づく  
りを進めるあぶくま地域の拠点都市を目指し、将来住み  
たい町、住んで良かった、子育て・子育てしやすいまちづ  
くりと、自立可能な行政運営の構築に先導的役割を担  
い、町民の皆様の期待に応えられる議会運営を目指して  
参りたいと決意を新たにいたしております。どうか議会  
運営に対しまして、更なるご理解とご支援を賜りますよ  
うお願い申し上げます。

町民の皆様にとりまして、幸多き年であり参りますことを  
心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。